



子どもたちの 未来のために

ロンゲラップからメジャトへ、移住40年を迎えて



10月21日(火) ▶ 3月22日(日)

1954年 1957年 1985年 2025年

水爆ブラボー実験
故郷を離れる

汚染の残る島に帰島

故郷を捨てることを決める
“子どもたちの未来のために”

それから40年...

1985年5月、マーシャル諸島ロンゲラップ環礁の人びとは、“子どもたちの未来のために”という言葉掲げて故郷の島を離れることを決めました。

戦後、アメリカによって繰り返された水爆実験の「死の灰」は故郷の島を汚染し、病気や死産で人びとを苦しめました。

移住から40年が経ち、人びとは移住先の地で新たな故郷を築きつつあります。しかし今も、彼らの帰島の願いは叶っていません。

本展示では、核実験によって故郷を奪われた人びとの苦悩と、その歩みをたどります。

写真：島田興生、1985年5月、ロンゲラップ島

開館時間 9時30分～16時00分

休館日 月曜日/祝日の場合は翌平日

11月4日、11月25日、1月13日、2月24日及び
年末年始（12月29日～1月3日）はお休み

■アクセス

新木場駅より徒歩10分（有楽町線、京葉線、りんかい線）
都営バス「夢の島」バス停より、徒歩3分

※夢の島公園駐車場は、工事のため一部閉鎖されています。
なるべく公共交通機関でお越しください。

